

災害伝承の取組事例(H28年度)

概要

平成28年度は大正15年山本大水害から90年、8.20広島土砂災害から2年などの節目の時期に、市町、地域、企業及び学校関係者の方々と連携し、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の一環として、災害伝承に関する取組を実施した。

取組内容	開催日時	開催場所
【土砂災害伝承パネル展】		
平成22年庄原豪雨災害	7/14～25	庄原市役所（地域と連携）
平成26年8.20土砂災害	8/1～31・11/6	安佐南区民文化センター他7会場(広島市と連携)
大正15年山本大水害90年,8.20土砂災害	8/19～24	イオンモール祇園（国土交通省と連携）
平成26年8.20土砂災害	8/15～31	安佐北区亀山公民館
枕崎台風・8.20土砂災害	9/12～20	ゆめタウン廿日市（廿日市市と連携）
全国砂留シンポジウム(堂々川砂留)	10/9	神辺文化会館(福山市，地域と連携)
世界遺産20周年記念事業・宮島紅葉谷川	11/15～12/18	宮島歴史民俗資料館（県立広島大学と連携）
ひろしまの災害と防災	H29.1/13～3/20	ふくやま草戸千軒ミュージアム(歴史博物館と連携)
【砂防出前講座】		
H11.6.29豪雨災害,戸山探検,避難所体験	5/18,5/24,8/8	広島市立戸山中学校
歴史的砂防施設堂々川砂留 他	10/18	福山市立神辺中学校
宮島紅葉谷川フィールドワーク	12/17	県立広島大学

土砂災害伝承パネル展



イオンモール広島祇園
(被災DVD上映や降雨体験機等のイベントも実施)

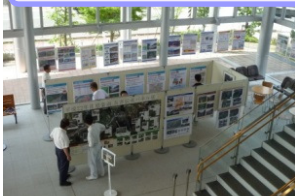


地域の公民館と連携した土砂災害伝承パネル展

災害伝承パネル展アンケートのご意見

- 過去の災害を教訓にして今後の防災に活かす必要がある。このようなパネル展を見て、身近な地域の過去の災害を知る事が出来て良かった。次世代に引き継いでいくことが重要な事だと感じた。
- [被災経験者より]このパネル展を見て、ひとつの命という大切なものを大事にもらいたい。災害を知る事、非常用持出袋などを準備し、災害に備えることが重要である。
- 身近で発生した災害なので、忘れないようにしなければいけない。このような土砂災害防止の大切さを学べるような催しは大切であり、各地で実施することが重要であると思う。
- 災害から時間が経つと意識が低下してしまう。このような機会は、改めて認識する良い機会であり、今後、家族とも話し合い、避難行動に役立てたい。

地域の災害伝承の取組



地域と連携したパネル展



地域主催のシンポジウム



H22庄原豪雨のDVD上映



地域主催の砂留調査ツアー

学校との連携による災害伝承の取組



地域の砂防ダム等の確認



家族でハザードマップ作り



地域の雨量計や避難所の確認



語り部による災害伝承